



2024湖っ子食育大賞

大賞は、守山市立速野小学校に決定！

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、令和6年度は18年目となり、県内の学校から11校の応募がありました。審査の結果、大賞は守山市立速野小学校に決定しました。

～受賞校の概要～

大賞 守山市立速野小学校

「愛³=生産者の愛、調理員の愛、自分への愛 ～楽しい食育で、みんな笑顔に～」をテーマに取り組みされました。

児童による積極的な委員会活動での残食を減らす取組や、地域の野菜生産者との連携、栄養教諭による給食時間や教科での計画的な指導など、学校全体で食育を推進されています。

特に、「園芸委員会が育てた野菜を使った献立を、給食委員会が考え、給食で提供する取組」は、子どもたちが主体的に考え、行動することで、より子どもたちの食に対する関心を高める取組であると評価されました。

調理員を含めた全教職員で食育活動を推進されている点も素晴らしく、テーマの通り、子どもたちの笑顔をつくる様々な楽しい食育の取組が実践されています。



委員会活動の様子

優秀賞 栗東市立葉山幼稚園

「朝ごはんを食べよう～家庭と共に取り組む食育活動～」をテーマに取り組みされました。

食育委員会を中心に話し合いを重ね、実態から課題を明確にし、全園体制で食育を推進されています。学年差、個人差が多い乳幼児期に、家庭と連携しながら一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな取組を実践され、特に「朝ごはん摂取率 100%」を目指した取組は、子どもたちの健康的な食習慣の基礎づくりを支える素晴らしい実践で、今後のさらなる発展を期待します。

優秀賞 甲賀市立信楽小学校

「ふるさと献立を食べよう!」をテーマに取り組みました。

ICTを積極的に活用され、毎月の食育の日には、給食で使用する食材についての紹介や生産者からのメッセージを動画に取り入れ、給食時間に放送されています。それに加え、実物の食材を見たり触ったりできる機会を作り、子どもたちがより郷土の食材に興味関心を持つように工夫されています。

また、年間指導計画に「食育の日」を明確に記載され、年間を通じて計画的な取組を実施されています。

優秀賞 東近江市立玉緒小学校

「生活習慣を確立し 健康な食習慣を身につけることのできる児童の育成を目指して」をテーマに取り組みました。

児童の実態から課題を明確にし、教職員全体で課題と目標を共有し、取組を進めておられます。栄養教諭が所属していない学校ではありますが、食に関する指導が年間を通じて計画的に行われています。給食委員会による全校を巻き込んだ毎月の様々な取組により、給食を残さず食べようとする意識が高まっています。また、家庭と連携した「メディア・コントロール」の取組は、生活習慣の改善により、健康な食習慣を身につけるための素晴らしい取組で、今後の成果が期待されます。

優秀賞 滋賀県立聾話学校

「高等部『作業学習』におけるSDGsの取り組み～生徒が栽培した野菜を学校給食で食べよう～」をテーマに取り組みました。

高等部が育てた野菜を無駄なく給食で使用し、幼稚部などの他の学年の児童生徒とランチルームで一緒に味わうという聾話学校ならではの異学年交流により、食への意識がより高まっています。

残菜を肥料にする、規格外野菜を加工して給食に使用するなど、SDGsの観点からも、素晴らしい取組が実践されています。

食育大賞および優秀賞を受賞されました5校には、記念品としてお祝いの「焼き海苔」をイメージして作られた信楽焼の盾を贈呈しました。

〈 湖っ子食育大賞 支援・協力 〉

公益財団法人 滋賀県学校給食会(副賞・表彰記念品制作)

県立信楽高等学校(表彰記念品制作)

